

上田市教育委員会 10月定例会会議録

1 日 時

令和元年10月16日(水) 午後3時00分から午後4時20分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	平 田 利江子
委 員	横 関 妙 子
委 員	綿 谷 憲 一

○ 説 明 員

中澤教育次長、池田教育参事、石井教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、宮越武石地域教育事務所長、深町丸子学校給食センター所長、小泉中央公民館長、滝沢西部公民館長、滝沢上田市立博物館長、

1 あいさつ (教育長欠席のため、北沢教育長職務代理者が定例会の進行)

2 協議事項 なし

3 報告事項

(1)令和元年度各部局重点目標の中間報告について(教育総務課)

○資料1により石井教育総務課長説明(要旨)

資料の1をお願いしたい。

重点目標については、毎年部局ごとに設定している。今年度の教育委員会重点目標については、3月の定例教育委員会で協議をしてご確認はいただいているところである。その内容、目標についてはいちばん左側にあり、期限・数値目標等については中央に記載ということで、これについては今申し上げたようにすでに確認いただいているところである。今年度上半期が終了したことで市長部局へ中間報告をしたので、各担当課長の方から説明を申し上げたいと思う。なお、それぞれの目標の右上のところに各部局の自己評価の箇所に○がついているところがあるが、評価基準は資料の裏の欄外のところに、[○：目標を上回る進捗][○：目標どおり進捗][△：未進捗の部分あり][×：全て目標未進捗]と評価基準の記載があり、これに基づいて評価されている。重点目標は5つあるが、いずれも自己評価は○目標どおり進捗とさせていただいた。それでは、個々について担当課長の方から順次説明をお願いしたい。

重点目標「上田市教育支援プラン」の推進

○資料1により緑川学校教育課長説明(要旨)

学力の定着・向上は、(1)「わかる授業」につなげる授業改善ということで、ユニバーサルデザインの推進、学力向上委員会の運営方法見直しと充実を挙げている。数値目標等については、資料記載のとおり決定している。右側の進捗状況・進捗度については、(1)長野大学社会福祉学部と塩田地区4小中学校が年間を通じ、ユニバーサルデザイン化の視点を取り入れた授業改善の取組を行っている。その成果について公開授業等により、全小中学校等に発信をしている。として、例年行っている県外視察や講演会の開催を見直し、課題等を自由に話し合う場を創出することで、第一回は7月に開催済、第二回は10月、第三回は11月に開催する予定となっている。

いじめ・不登校など悩みを抱える児童生徒への支援についての重点項目は、(1)「SOSの出し方に関する教育の推進」(2)スクールソーシャルワーカーによる支援の強化ということである。進捗状況・進捗度(1)については、一部について今後、市内3中学校で実施をする予定となっている。(2)については、県の教育委員会から派遣されたスクールソーシャルワーカー2名を重点校に配置し、現在小中学校を訪問し、支援を行っている。

教員のICT活用指導力の向上についての重点項目は、(1)小・中学校の各1校に教員用タブレットPCを整備する。(2)タブレットPCの活用方法、運用方法を調査研究ということである。右側の進捗状況進捗度は、現在、本原小学校は整備完了、第六中学校については10月23日に完了が決定している。(2)については今後、活用・運用方法の調査を行っていききたい。放課後児童対策の充実については、(1)学童保育所太郎を新築し定員を増加する(2)適正な利用児童数を維持するための施設整備である。右側の進捗状況・進捗度は、(1)9月3日に契約を締結し、現在建設中である。(2)8施設の定員を241人に増加している。

教員の働き方改革の推進の重点項目は、(1)教員の勤務時間の把握と適正化である。こちらの進捗状況・進捗度については、(1)月ごとの時間外勤務時間を調査し、勤務時間の適正化を推進するということで、今年の4月から来年の6月まで調査を実施したいことである。

○資料１により石井教育総務課長説明（要旨）

続いて、 、 の重点項目は教育総務課の関係のためこちらから説明をさせていただく。

食育の推進・充実に向けた環境の整備についての重点項目は、(1)一部変更した「今後の学校給食運営方針」の市民への説明・周知(2)「今後の学校給食運営方針」（変更後）を踏まえた新しい学校給食施設の建設に向けた取組の着実な推進の目標である。進捗状況・進捗度は、(1)説明会については、市民説明会を２回、自校方式の小学校への保護者説明会を２回開催した。また、広報紙、ホームページ等でも周知を行った。(2)の建設の取組は、今のセンターに隣接する場所を候補地として、地元自治会へ建設の説明会を行った。また、当該用地に係る農振除外申請を行った。これは８月に申請を行っている状況である。

小中学校のあり方の検討の重点項目は、目標については(1)「上田市小中学校のあり方検討委員会」による小中学校のあり方に関する基本方針の策定である。進捗状況・進捗度は、(1)検討委員会を２回、５月・７月に開催した。１０月に入ってから５回目を開催し、今後、基本方針の検討を進めていくという状況である。

重点目標「安全・安心な教育環境の整備」

○資料１により翠川教育施設整備室長説明（要旨）

以下の から まで重点目標の説明。

市内小中学校への空調機器設置について、当初目標は６月までにできるだけ稼働を開始したいということで、若干無理な状況であったが、そこを目標として頑張ってきた。進捗状況については、６月末で８割を超えて稼働率８１．３％を達成できた。少し遅れているところもあったが、８月２２日に五中が最後となったが、稼働率１００％を達成することができた。夏休み中に設置は完了できたということで夏休み後は全校でエアコンを使えることになった状況である。

第五中学校改築事業ということで、今年から実施計画事業に搭載を受けて初年度の今年は、耐力度調査業務委託を発注するという目標である。年度末までに調査を完了する目標である。進捗状況については、耐力度調査は難しい部分もかなりあるが、しっかりとした仕様書を作成し、視察準備を進めて１１月１日に委託の入札を予定している。

上田市学校施設長寿命化計画[個別施設計画]素案の作成を目標にしている。進捗状況であるが、直近５箇年の営繕履歴の整理を完了した。長寿命化計画の方は、特殊建築物の定期点検を踏まえてプラス、建物外観チェック約６０％の整理が完了したという状況である。

学校施設の適正な営繕の実施について、年度会計で行っているもので、目標の方は１２月までに主に必要な営繕工事の発注準備を完了したいということになっていた。しかし、進めていくうちに細かい突発的な営繕工事が結構あるという状況の中で、大きい部分の発注は１２月までに発注の準備を進めたいと考えているが、１月から３月の突発的な部分も考えて、少し１月から３月用の予算も残す予定でいる状況である。

重点目標「文化遺産の保護・継承・活用」

○資料１により竜野生涯学習・文化財課長、滝沢市立博物館長（進捗状況・進捗度のみ）説明（要旨）

「上田市文化財保存活用地域計画」の策定に向けた取り組みは、来年度策定に向けての今年度は、住民説明会の開催に向けて、ダイジェスト版の印刷を完了したという進捗状況である。史跡等上田城跡整備の推進と文化財の活用は、これについては後ほど説明を申し上げるが、２回の開催を行った。

史跡等上田城跡整備事業の推進は、これについての進捗状況は、専門家会議に向けての設置要項等の準備を進めている状況である。

郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出については、生涯学習・文化財課としては、パネルの制作に向けて、紹介文等の作成を進めている。の内容であるが、市立博物館ならびに国分寺資料館において企画展を開催するほか、講座等を開催し、市民の皆さんへ知る機会の創出に向けて進めている状況である。

重点目標「生涯学習の推進と学習環境の整備」

- 資料 1 により竜野生涯学習・文化財課長、説明（要旨）

西嶋人権同和教育政策幹 説明（要旨）

小泉中央公民館長 説明（要旨）

地域とともにある学校づくりの充実については、(1)広報活動として、ホームページの整備などを実施、(2)コーディネーター等のスキルアップ研修会都情報交換会の実施の取組項目である。の進捗状況は、(1)ボランティアハンドブック改正に伴い、特徴的取組の紹介をＨＰのコンテンツとして掲載した。(2)9月に県の研修会へ今年度参加したという状況である。

人権同和教育・啓発の推進について、進捗状況は、10月4日に行われた「市民のつどい」を含め研修会等に1,765人のご参加者があった。残り2回研修会等を計画している。なお、「市民のつどい」に関しては来月の定例会においてご報告させていただきたい。

青少年の健やかな成長を支援する取組の充実については、野外体験事業を2回実施し、ネット・スマホ適正利用チラシ2万部を市内小中学校全児童・生徒へ配布した。

公民館事業の充実について、(1)人生100年時代に向けたシニア世代の学びの拡充は、各館高齢者向け講座の充実をあげている。これについては昨年度から行っている公民館同士の情報交換、昨年度末に実施した高齢者の学びに関するアンケート調査をもとに、各公民館において高齢者向け講座の内容を充実させ実施している。(2)地域の資源を生かし子どもたちの自然体験・社会体験の機会の提供と充実については、各館の事業充実として温暖化にともない、夏休みの長期化を対応するとして、子どもが参加しやすい夏休みの時期に、自然・社会体験を行う講座・イベントを各館で企画、実施した。(3)公民館事業の情報発信の拡充は、研修2回、SNSによる情報の発信を1館という状況であるが、前半においてはスキルアップ研修の立案であり、今後、10月、1月の年2回は研修会を予定している。また、SNSによる情報の発信については、現在市内4館で実施しており、西武、塩田、真田、武石の4館で実施している。

図書館サービスの充実は、(1)「上田市子ども読書活動推進計画」の見直しの進捗状況は、関係課へ課題について提起するため、現在中身を検証しているところである。(2)今の職員の資質向上については、県立図書館主催の研修会等へ参加である。(3)貴重資料などの整理については、上田図書館では整理票9割が作成済、目録2割作成済。情報ライブラリーでは、登録が9割完了済。丸子図書館では目録が2割作成済みの状況となっている。

重点目標「生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備」

- 資料 1 により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

（仮）第2次上田市スポーツ振興計画の検討についての進捗状況は、計画検討のためスポーツ推進審議会委員を10名、任期2年の委嘱、併せて諮問を行っている。会議を2回開催したうち、1回については東海大学の体育学研究課長を講師に招き勉強会を開催している。

スポーツ施設整備の推進については、自然運動公園総合体育館で来年度の工事を予定しており、今年度設計業者が決定するなど進めている。各施設の修繕計画について管理事務所ごとに作成中である。

生涯スポーツ振興、競技力向上、人材育成とスポーツを支える地域づくりについては、各所事業を展開しており、スポーツ大会9回（陸上カーニバル、水泳記録会等）、夢の教室事業3校、ラグビー普及事業5回、Vリーグ開催支援（広報、施設利用）、総合型地域CC連携事業8回、全国大会等省令交付18件の進捗状況である。

北沢委員

説明が18分ぐらいかかったので、20分ぐらい質問や意見をとりたいと思う。1番から8番までであるが、個々に時間をとるので、最初の表の1番の学校教育課と教育総務課について質問、ご意見をお願いしたい。

平田委員

進捗状況の（1）「授業がわかると回答する児童生徒の割合」が増加していること、ここに注目したいと思う。特に小学生は平成28年度当初より毎年数値の減少が見られていたが、0.7%の増となっている。数字に一喜一憂してはいけませんが、これまでの取組が少しずつ数字に表れて授業改善につながっているのではないかと思える。学校訪問に行かせていただくと、子どもたちの学びを引き上げるためには、やはり（1）UD化（ユニバーサルデザイン化）の必要性を感じる。UD化が徹底されている学校は、整理整頓はもちろん、子どもたちの掃除に対する意識も高い。整った落ち着いた環境で学べるということはすべての子どもたちにとって大変重要なことであり、その結果、学ぶ力にもつながっていくと考える。UD化が徹底されていない学校にどのように伝えていくかが課題であり考えていただきたい。

（1）「迫力のある学びの創造」につながる授業というのはなかなか拝見できませんが、時おり、こちらワクワクするような授業が見られることがあります。全体的に以前と比べると、子どもたちの学びたいという姿勢が強くなり、主体的な学びの授業づくりに取組まれている様子が拝見できます。来年度に向けてさらに深まっていくことを期待しています。

（1）「SOSの出し方に関する教育」の推進について、授業が予定されるようだが拝見できるなら日程を教えていただきたい。

北沢委員

「SOSの出し方に関する教育」の推進についてお答え願いたい。

緑川学校教育課長

ぜひご案内させていただきたいと思うので、そのときはご連絡させていただく。まだ現実的に学校と決まっていないが、保健師と確認して進めていきたいと考えている。

横関委員

1つめの質問は、期限・数値目標等の1（2）「計画を立てて家庭学習を行う」児童生徒の割合を前年度比3%増を目指すについて、中学生の方が前年度比0.7%減と出ている。上田市で後期にどのように改善していくのかを教えていただきたい。2つめの質問は、1（1）検討委員会の委員さんの都合が合わず、なかなか予定が立たなかったとお聞きしたが、後期は4回開催されるように計画はどのようになっているのか教えていただきたい。

緑川学校教育課長

1 つめの質問を答えさせていただく。1 (2)「計画を立てて家庭学習を行う」児童生徒の割合は、中学生が減っている部分の1 つとして、この調査結果は平成31年度の全国学力学習状況調査の結果である。それは、今年の4月の調査の結果なので平成30年度の実施を出したものである。この使用についてはそれぞれ先生方や保護者や児童生徒に確認をしながら、修正を続けているので、今後も修正の中で1 つずつ数値を上げていきたいと思っている。今年については、これとは別にアンケートを4月と10月にとる予定である。この4月にとったものから、10月にとったものがまた上がってくるとよいと考えている。

石井教育総務課長

それでは、小中学校のあり方検討委員会の日程についてご説明したいと思う。平成30年度で5回程度、今年度で5回程度、計10回程度である。基本方針をまとめる予定だったが、昨年度立ち上げを遅れて2回しか開催できなかった。今年度は約2カ月に1回のペースで今まで5回開催をしている。昨年の遅れ、それを取り戻すにはということだが、1つは、回数を増やすということを考えられたが、なかなか委員さんはお忙しい方が多くて頻繁に開けないということ。されど、少ない回数をまとめるような簡単な内容ではなく、委員さん方にお諮りしてなくて恐縮だったが、あり方検討委員会の委員さんには少し伸びますよとお話を申し上げている。委員さん方にはご理解いただいているということで、これまでに5回開催したが、今年度はあと3回程度開催して8回になる。そこで素案をまとめて、年度が替わったところでパブリックコメント等で意見を抽出し、来年度の前期のうちに基本方針をまとめていきたい。そのような日程で考えている。

横関委員

できなかったということがないように日程調整をしていただきたいと思う。10回開催するところを8回になってしまうところもあるので、そのあたりもきちんと検討されているかどうか心配になる。本当によいのかどうか考えていただきたい。

石井教育総務課長

少し言葉足らずだったかもしれない。昨年度が2回、本年度が6回、計8回開催しているが、ここまでではまとまらないということで開催する予定である。来年さらに2、3回予定して来年の前期のうちに基本方針をまとめていきたいと、そのような日程で考えている。

横関委員

よろしくお願いいたします。

綿谷委員

1 (2)の期限・数値目標にある「計画を立てて家庭学習を行う」児童生徒の割合を前年度比3%増を目指すことで、小学校の7.8%増は非常にすばらしい数字になっている。中学校は0.7%減ということで、今、中間報告の中で後半にいき0.3%増に到達するには何か具体的な方策を出していかないと難しいことだと思う。この中で家庭学習ということをも中学生がどのように抱えているのかをみていかないとなかなか数字が伸びていかないと思う。数字がすべてで

はないと思うが、実際に確認できるのは数字しかないもので、それを今後どのように後半に向けて努力していくのかお聞きしたい。

緑川学校教育課長

先ほど、横関委員から話があって回答のとおりだが、昨年導入されて使い勝手が良い、使い勝手が悪いところを学校の先生によってはこれが良いという方がいれば、これは悪いという方がいる中で、どのように使ったらよいかを昨年、学力向上委員会の中を通じて検討させていただいた。その事例等を報告させていただきながら、また書式的に使いづらい部分はどこなのかを修正していきたいと思う。あとは、いちばん使っていると聞いていることは、学校で「紡ぐ」について記入していただき、家庭へ帰って勉強していただくような活動につなげていただくようお願いしている状況もあり、また、これは不足的部分もあるが、進捗状況・進捗度の中のいちばん上のところの部分で、「授業がわかると回答する児童生徒の割合」で、特に中学生の方は2.7%増と上がってきている。今年の調査の結果で家庭学習の時間が増えてきている。また、数学の中学校の平均点、成長率も上がってきている意見もあるのでまたそのような取り組みを続ける中で、数字が上がっていけばよいと考えている。

北沢委員

1番についてはよろしいか。私からは2つ質問をお願いしたい。1 (1)の期限・数値目標にある(1)授業方法を研究し市内3中学校での実施を目指すところがあるが、何の実施なのかが1点。同じく、期限・数値目標のところいくつかの数値目標が出ている。2 (1) 1.5%増、1(2) 前年度比3%増、(1) 45という数字の根拠を教えてください。

緑川学校教育課長

まず、最初にいただいた授業方法を研究しているところだが、北沢委員がおっしゃるとおり中身を確認したところ、昨年、県の保健師さんを派遣させていただいて第六中学校2学年の全体を集めて授業を行ったと聞いている。今年度についてはもう少し規模を小さくして各クラスで行ったり、今回については、上田市の保健師を派遣して開催したいことが授業方法を研究することだったらしく、少し言葉を誤ってしまったと考えている。また、数字 (1) 1.5%増、1(2) 前年度比3%増、(1) 45という数字の部分に記載されているが、1.5%、3%については私のポジションで確認がとれていない。45時間については、国、県の方で45時間以内にするようにという方針が出ているので、上田市も45時間以下を全職員なるように目指していきたいことで記載させていただいている。

北沢委員

文章はわかるように訂正をお願いしたい。次回に、数字 (1) 1.5%増、1(2) 3%増は、何を根拠にしたのか、教えてください。

北沢委員

次の2番にいききたいと思う。教育施設整備室にかかわって「空調やエアコン」のことについて書かれている。最後の8月22日に稼働率100%となっているが、これは予定どおりなのか、私の記憶では予定より遅れて100%になったと思うが。そのことで、何か苦情等、問題点があったかどうか。

翠川教育施設整備室長

当初は6月30日ということで目標にしていた。もともと予算を去年の12月補正でつけていただき急ぎで発注準備を進めたが、昨年度中に発注できなかった予算上の都合があり、今年度にずれ込んだ契約が4校あった。その中でもできるだけ6月30日ということで思っていたが、目標には届かず、夏休み中にはできあがったことで評価の方は○にさせていただいた。また苦情等については、いちばん困ったことはこちらの部屋もあちらの部屋もエアコンをつけてほしいとご要望があり、担当のものは大変苦慮していた状況である。

北沢委員

そのほか、2番についてはよろしいか。

○全員了承

北沢委員

それでは、3番、4番含めて生涯学習・文化財課についてお願いしたい。

平田委員

4 「青少年の健やかな成長を支援する取組の充実」で、ネット・スマホ適正利用チラシを増刷し、市内小中学校全児童・生徒へ配布していただいたということは大変ありがたいことである。しかし、現状は、ゲーム、ネット依存など大きな社会問題であり、多くの保護者、そして子ども達自身も悩んでいる。以前にもお願いしたが、学校教育課と生涯学習・文化財課、市長部局と連携して、上田市としての取組を考えていただきたい。特に乳児期、幼小期からのメディアテラシー教育は重要だと考える。これまでもスマホ使用の講演会や学校でも様々な対応はされているが、来年度へ向けてもう一歩踏み込んだ取組をお願いしたい。

竜野生涯学習・文化財課長

おっしゃるとおり低年齢化しているので、そのことについては子ども未来部と連携しながら進めてまいりたいと思う。

北沢委員

そのほか、3番4番いかがだろうか。

横関委員

4 (3)進捗状況にあるSNSによる情報の発信(市内4館)について、実際に行われているが、台風時でSNSはすごく活用されていた。そのほか、フェイスブック、ツイッターを使っているが、市の情報がどんどん入ってきて、避難所の状態でも何人入っているのか、どういう状況なのか、どこが陥没しているのかということも入ってきた。また、指定避難所でない西部公民館が避難所になりどれだけ混乱したのかということも、市民の人たちが必要な物をかき集めて用意したことも分かったことである。私たちの世代では、SNSは当然のようになっている。しかし、上田市のホームページは一時ダウンし、アクセスできないような状況になった。情報がとれないような状態のときにSNSは活用できた。そのことを考えると、公民館もSNSを活用して情報発信していただければと思う。公民館でも避難所になっているところで情報を出していただくこともお願いしたい。いろいろな公民館活動もSNSを活用して若い人たち

に公民館活動を広げていくことは、これからとても重要となっていくと思うのでSNSを使用していない公民館は使用していただきたいと思う。

小泉中央公民館長

公民館活動を今後も検討を進めて数多く実施していきたいと思う。

北沢委員

そのほかはよろしいか。

では、次の5番をスポーツ推進課お願いしたい。

私の方から伺わせていただく。5 ラグビー普及事業が7回、ここに関わって、ラグビーが話題になっている。新聞でも見たが、イタリアチームは菅平で事前合宿をしたようなことと、ラグビー普及事業の関わり等について、上田市にとってプラスになっていることは何なのかをお聞きしたい。

池田スポーツ推進課長

イタリアチームの関係については、市長部局の方で対応している。それにとまって、ラグビーワールドカップはただ今開催中だが、昨年度からこの地域を盛り上げようということで、小学校等へ教育委員会として取組の前に行って体験を進めているところである。教育委員会のスポーツ推進課として、取組のところではまだ何かということは申し上げられないところがある。市全体として、市長部局を含めたイタリアチームの形でいくとラグビーワールドカップは今テレビで盛り上がっている。そういった部分でラグビーに対する認知度が上がったことがいえると思う。また、イタリアチームがきたことにより、もともとラグビーの聖地である菅平があったが、さらに知名度が上がり、お越しいただく皆さん方も増えPRすることができたと思う。小学校の関係では、先生方のラグビーというものはあまり関わりがなかったと思う。団体スポーツということで行うことができることになっている。そのようなことも含めて少し視野が広がっているとよいと思っている。

北沢委員

このことに関わって、高校の先生がこのラグビーの普及事業に県から1人派遣されていたと思う。ラグビーワールドカップが終わったら引き上げられてしまうのか。

池田スポーツ推進課

今、スポーツ指導主事として県から派遣をいただいている。基本的には、市長部局の方からラグビーの誘致の関係でこちらへお越しいただいた。県教委からいただき、市教委として受け入れたことである。任期は2年間ということで県の教育委員会へお願いに伺ったが、2年のお約束というような返答であった。

平田委員

全体を通して伺いたいのが、この重点目標は「第2期上田市教育支援プラン」の推進を基本としている。この支援プランというのは来年度で結果を出さなくてはいけないものである。平成28年、29年度は進捗状況の資料をいただいた。見える化を図り数値化しているわけだが30年度の進捗状況は出ているのか。

平田委員

確認していただきたい。P D C Aサイクルということであれば、来年度に向けて今年度の後半をしっかりと精査していかなければいけないところだと思う。進捗状況報告書はホームページにも掲載するものであると考える。ご存知のように、ここに掲載されているのは今年度の重点取組項目であり、上田市の支援プランには14の支援策が掲げられているが、中には未着手のものもある。以前にもお願いしているが、支援策14「自然を守り、災害や犯罪から自らを守る教育の推進」は重要であり、主な施策の展開の防災教育等学校安全の充実として「消防団と連携した防災行事を行う」ことも推進していかなければならない。今回、台風19号による想定外な自然災害が起きたことも踏まえ、あらためて大事な支援策だと考える。支援プランには多岐にわたる重点項目があるが、来年度に向けてしっかりと精査し、できることは進めていただきたい。

北沢委員

今のご意見は極めて大事なことである。

平田委員

資料もいろいろと重複していると思うのでまた確認していただきたい。

北沢委員

次回はきちんと回答していただきたい。

○全員了承

(2)「文化財 de 文化祭」の実施報告について (生涯学習・文化財課)

○資料2により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

第1回目の9月1日(土)は、妙見寺本堂にてギターリサイタルを無料で開催し、参加者109名の方にご覧いただいた。第2回目は、9月21日(土)別所神社神楽殿(本殿が指定文化財)において、シェイクスピア「マクベス」古典劇鑑賞会を開催した。この日はお子さんにかかわらず、本殿に入らせていただいて参加者109名の方にご鑑賞をいただいた。昨年は200名だったので、昨年よりさらに多くの方にご鑑賞いただいた。

北沢委員

続けて「資料5」までお願いしたい。

(3)「山城サミットプレ大会」の開催について (生涯学習・文化財課)

○資料3により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

来年度、全国規模のサミットを計画している。本年度はプレ大会として開催することとなった。内容と日時等については5と6の記載をご覧いただきたい。西部公民館を会場に11月2日(土)に開催する。内容は6に記載のとおり、3つの講演会と分科会を予定している。なお、来年度については、「第27回全国山城サミット上田・坂城大会」の開催を予定している。10月31日(土)エクスカーション(上田・坂城地域の山城登山ツアー)、11月1日(日)サミット講演会・シンポジウム(於)サントミュージーゼ 大ホールにて開催する予定である。全国から1,000人ぐらいの方が集まる大会ということで、実行委員会を中心に行っていく予定である。

(4)上田城跡でのテレビ番組の収録結果について(生涯学習・文化財課)

○資料4により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

前回の協議会でご紹介しているが、上田城での収録結果をご報告させていただく。番組名はテレビ東京系(県内では信越放送が放送予定)「緊急SOS池の水をぜんぶ抜く大作戦」という番組が9月1日(日)に収録が行われた。今回は、外来生物の駆除やお堀の清掃ということで青年会議所をはじめ、保存会の皆さんによって行われ協力したということである。当日は、資料記載のある(6実施結果)生物が捕獲されたが、特定外来生物については駆除し、その他の捕獲した生物は収録後、ただちに堀に戻した。このときに資料(4)出土遺物として堀底から真田昌幸の時代に用いられたと考えられる瓦が出土した。これについては、発見された瓦のうち、特徴的なものは市立博物館別館2階(真田氏関連展示コーナー)常設展示されている。なお、資料の裏面については水を抜いたときの写真である。非常にテレビ局の方が驚いていたことは、ゴミがあまりなかったことで上田市民のマナーの高さの評価をいただいた。また、下の写真について、これは平成3年のときに先ほどと同じ瓦が出土したということでご参考までに掲載させていただいた。

(5)生涯学習シンポジウムの開催について(生涯学習・文化財課)

○資料5により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

こちらについては3テーマとして、人とつながる・地域とつながる「NPO大集合!」として、11月24日(日)午後1時30分~4時、中央公民館大会議室において松本大学専任講師、地域づくりコーディネーターの福島明美先生を講師にお呼びし、市内のNPOの方に集まっていたいただき情報交換等していただきながら、学びとまちづくりをテーマに行いたいと思っている。なお、別件の話になるが、今回の台風19号の影響で10月12日(土)に予定していた5大学リレーの信州大学については延期をさせていただいたのでこちらでご報告させていただく。

北沢委員

では、今ご説明いただいた文化財の池の水、シンポジウム等について質問、ご意見等あればお願いしたい。

平田委員

資料3「山城サミットプレ大会」の開催について、第27回が来年上田市で開催されるということで1,000人規模の方がいらっしゃる。全国の方が集まる大会が開催されるが、今後どのように市民の皆さんに周知されていくのかお聞きしたい。

竜野生涯学習・文化財課長

山城サミットについて周知はされていると思うが、市民の皆さんにとってこれは財産であるということをアピールしたいということで実行委員会の方で今回周知している。このプレ大会・サミットは目的ではなくて、これを機に知っていただくことなので発信していきたい。

平田委員

山城サミット関係者の方のホームページを拝見したところ、なかなか周知されないことを危惧されているように感じた。長野県での開催は初めてということで貴重な大会である。どのように支援していくのか。

竜野生涯学習・文化財課長

おっしゃるとおりのことである。今回、実行委員会中心ということもあったので、そちらを中心に、また補足であるが、今回の上田大会の特徴は西部公民館と市民団体の皆さんが協働してこの事業を展開している。公民館活動が盛んな上田ならではの面も含めて支援していきたいと思っている。

横関委員

山城保存活用団体が高齢化し、活動の制約が課題となっていることについて、ブレ大会で分科会に若い人たちを参加していただけるよう何か促すことはあるのか。

竜野生涯学習・文化財課長

ブレ大会の当日にさまざまなブースなどを設けて若い人たちにも参加いただければと考えている。今年は11月9日、11月10日に岐阜の可児市で行われる全国山城サミットの大会へその内容等を拝見してくるが、すでに戦国BASARA的なアニメともコラボして展開していることで若い方たちにも興味を持っていただけるような周知を考えている。

横関委員

資料5について、まちづくりの講演会は市としても市民参加・協働推進課がまちづくりや住民自治組織の業務内容を行っている。こちらの方との連携はどうなのか。

竜野生涯学習・文化財課長

市民参加・協働推進課と連携させていただきながら、市民参加・協働推進課はNPO支援ということである。生涯学習・文化財課としては学びがまちづくりにつながって、さらにまなびに展開していくそういったサイクルの中でNPOの皆さんとの連携が有効的と考えている。当然、この事業の開催あるいは告知については市民参加・協働推進課とも連携して進めていきたい。

横関委員

NPO・市民団体と資料に記載してあるがどのような団体なのか。

竜野生涯学習・文化財課長

今のオファーしている段階で、地域まーゆさんやバリューブックス、上田自由塾さんなど、何件か聞いている。最低10団体は集めたいと思っている。

横関委員

住民自治組織も生涯学習につながっているので、そちらの方にも声をかけていただきたい。

○全員了承

(6)総務文教委員会「テーマ別車座集会」について(中央公民館)

○資料6-1により小泉中央館長説明(要旨)

上田市議会では議会の活動内容を市民に提供するとともに、市民の意見を把握するために2つの議会を行っていて、「議会報告会」と常任委員会ごとにテーマを決めて行う、「テーマ別

車座集会」を開催している。今年度、総務文教委員会では、公民館活動をテーマとして意見交換を行うこととしており、こちらは公民館活動に意見評価をいただいたものである。

実は、先日議会の委員長、副委員長さんが中央公民館の方へお越しいただき、私どもは公民館運営審議会委員さんに席依頼ということで集約を行っていたところであるが、台風19号の被害により日程が決まっていたが、今回取りやめにしたいとの話があり中止の報告をさせていただいた。

(7) 武士の魂―上田ゆかりの武具と刀剣―について(市立博物館)

○資料6-2により滝沢上田市立博物館長説明(要旨)

夏の企画展で「上田の水害」の企画展を開催したが、市民の方々から季節的に良い展覧会という言葉を承った。江戸時代と同じ場所が今回も被災していて国分、下堀、別所線にかかる堤防が決壊すると戊の満水と同じように御所、中之条、下之条あたり、中之条では上田最大の犠牲者を出しているの、そういった意味では過去を知るといことは防災つながりだと思っている。また長野の洪水も戊の満水とほぼ同じ場所であった。

上田市博物館は、前身の徴古館(1929年開館)から数えて今年で90周年を迎える。これを記念して、当館所蔵の武具の中から、重要文化財や県宝、指定文化財などを含む貴重資料・名品を展示する。例えば、資料の裏に記載のある重要文化財の信長所用の胴服は、これは松平氏の初代に与えられたものである。来年の大河ドラマは明智光秀なので、まさしく信長、秀吉であり、その秀吉に仕えた仙石秀久宛に秀吉からもらった書状を初公開し、本能寺の変の4日後の発給文状ではないかと思われる。そのほか、甲冑、刀剣など貴重なものが展示されている。期間は、夏の展覧会と比べ非常に短いのでぜひともご覧いただきたい。

(8) 市長表彰の授与について(学校教育課)

○資料6-3により緑川学校教育課長により説明(要旨)

1. 概要は、「市長表彰制度」に基づき、優秀な成績を収めた方に「市長表彰」を授与し、その功績を顕彰したいものである。
2. 候補者については、船山葵音さん、上田第二中学校3年生
3. 推薦内容については、国際・国レベルの大会等で優秀な成績を修めた者ということで今回、全国中学校柔道大会の女子個人戦57kg級で第3位を成績を修めたことで推薦させていただく。

北沢委員

今、ご説明いただいた3つの報告事項(6)(7)(8)について、質問ご意見等お願いしたい。

横関委員

市立博物館にお聞きしたい。10月26日に「上田の水害」の展示会が終わってしまい、その後、台風被害があり、今まで上田市は大丈夫だといわれていたが、結局ふたを開けてみれば被害で大変な状態であり、さらに雨が降れば上田も大変なことになっていた。今になってみるとタイムリーで、もう一回「上田の水害」の展示会を開催していただきたい。やはり、繰り返し行うことは大切で、子どもたちが知るといことは大事なことである。自分たちの命は自分たちで守ることが大事である。津波の災害のときもそうであったが、防災を意識するためにも展示会を開催していただきたい。

滝沢市立博物館長

戊の満水の被害というのは、佐久、ならびに北信で深刻だった。3,000人の死者のうち大半は両方であった。上田が比較的安全であったのは、当時の城下町や、第二段丘上にあったからである。氾濫源にあった先ほどの下之条、中之条の近辺、塩尻、そして国分、下堀、上堀に分かれたのはそのときに堀集落が大被害を受けて踏入に移住した状況から、その氾濫原に今も万単位の人たちが住んでいる。駅もあり、サントミュージゼもあり、マンション等もあり、同じように堤防が切れたら恐ろしく深刻な事態になる。展覧会のパネルにも上田は災害が少ないといわれていると冒頭に記載していたが、それは思い込みに過ぎないということで文化庁の災害史の発掘について東日本大震災になると非常に力を入れている。今後、コーナーなどを設けて常に発信していきたいと思う。今回、博物館の職員が水害というと固い感じになるが、江戸時代の堤防に木を組んでそこへ石を入れることを「うし」という。「うしちゃん」というキャラクターをつかって子どもたちに向けて発信していただいたり、アンケートに答えていただいたりするとポストカードを差し上げるなど、お子さま、児童の皆さまに親しんでいただけるよう工夫をしている。今後も生徒児童にも愛されるような展示の仕方で行ってみたいと思う。

北沢委員

確認だが「再展示」はされるのか、されないのか。

滝沢市立博物館長

基本的に一度開催したものについて開催する予定はない。展覧会の終わった翌日に市会議員3人ぐらいから、まだ展示しているかとの問い合わせがあったが翌日には撤収となっていた。今後、何らかの形で規模を縮小してでも検討したいと思う。

北沢委員

(9)(10)(11)については説明がないので、報告事項は以上で終わりにする。

○全員了承

(9) 寄付の状況(学校教育課 スポーツ推進課)【説明なし】

○資料7-1 7-2

(10) 行事共催等申請状況について(生涯学習・文化財課 スポーツ推進課)【説明なし】

○資料8-1 8-2

(11) 公民館だより(各公民館)【説明なし】

○資料9

4 その他

(1) 西部公民館の活動について(西武公民館)

○資料10により滝沢西部公民館長説明(要旨)

西部公民館の開館は昭和54年であったが、そのうち当時に建てた旧館の老朽化が進んでおり、地元からの要望があがってきて平成28年度に新しく建設することになった。平成29年度に外工事中であったが、8月に借換え館ということで開館し、その翌年1月末に竣工式を開

催して新しい公民館となったところである。借換え館を含めると開館して2年2ヶ月と少しの状況である。

1. 西部地域の概要について、(1)西部、塩尻地区の合計で12,306人、(2)分館数は15分館ということで、人口でみると上田市の7.8%ほど占めている。
2. 公民館の基本姿勢については、(1)地域住民が自由に集える場を提供することは、新しい公民館は旧警察署の跡地ということで芝の広場や遊具なども用意があり、遊んでいるお子さんや児童が利用している状況である。(2)地域の生涯学習の拠点として、今回の建物において様々な学習活動を展開する。(3)地域資源を再確認し、地域への愛着と誇りを醸成することを目指して事業を展開している。(4)西部公民館としては社会体育事業に力を入れており、地域の分館の連携を図っている。(5)子どもたちの健やかな成長のための環境を地域全体でつくることで、コミュニティスクールの視点にあたっている。
3. 利用状況の推移については、ここしばらくは減っているところだが、棒グラフが利用件数、折れ線グラフが利用者数となっている。新しい公民館ができて、ご利用の方が増えてきている。平成28年度は旧西部公民館、平成29年度は建設途中で借換え館した、平成30年度は新しい公民館であるので、28年度と30年度を比べると、5割以上の件数、利用者数が増えている状況である。
4. 本年度の重点的な取組について、(1)里山づくり支援事業は、長い間地域の皆さんで太郎虚空蔵山縦走路の整備をしており、毎年西部公民館の主催事業としてトレッキングを年2回、縦走路整備も募集して年2回行っている。これ以外にも地域の皆さんで縦走路整備を随時行っている。その中で最近は特に来年予定されている「山城サミット」に向けて、山城周辺の重点整備を行っている。(2)学社連携事業は、子どもたちの健やかな成長を支援するということで、信州型コミュニティスクールの開校であるが、西部地域においては特に西小学校と第三中学校において支援をしている。(3)利用者団体連携事業は、旧西部公民館のときは主に利用者団体の作品を発表する場としていたが、新公民館が建設されたことから、舞台発表を併せて「公民館まつり」を平成30年度に開催した。以前よりも参加団体数も増えてきたところである。

資料10の裏面をご覧ください。令和元年度の西部公民館実施予定事業である。社会体育事業は5つの西部公民館杯の大会を行っており、本来であればいちばん下に記載のある運動会については、10月20日(日)の予定であったが災害対応の関係で中止という判断をさせていただいた。成人教育関係は、女性学級が増えて事業を進めている。先ほど申し上げた重点事業の里山づくり支援事業、塩尻の今昔を知ろう!の事業では、地域支援発掘というようなことでだいぶ前から実施しているところである。文化教育は、西部公民館まつりということで3月に開催を予定している。青少年教育は、自治会懇談会や市民会事業等がある。そのほか、西小学校支援ということで全て西部公民館が行っているものではなくて、中には地域の皆さんが主体的に行っているところもある。また、三中の花づくりの関係や三中JIGAKU学習支援には西部公民館が関わっているが、三中家庭科授業支援については地域の方をお願いしている状況である。人権同和教育は各公民館が同じような形で行っている。広報関係はフェイスブックの関係に少し力を入れてやっていく予定である。

北沢委員

質問等何かあればお願いしたい。

平田委員

平成30年度は飛躍的に利用されている方が増えているが、公民館が新しくなったことで地区内の方々のイベント等が多くなって増えているのか、それとも西部地区以外の方の利用が増えたのか。

滝沢西部公民館長

利用者団体というものは増えているが、利用者団体の中の人数が減っていることがあり、そこで極端に増えていることはない。地区外の利用もかなり増えているのではと思う。地区内と地区外を区分したデータがないのではっきりしたことが申し上げられない。駐車場の台数は95台ほどあり、平屋であるため高齢者の方も使いやすいことがある。毎月1日に3カ月先まで開放するが皆さん朝きて並ばれている状況もある。利用者団体以外の利用はあるが、その日を狙ってぜひ使いたいというお客様が以前より増えていると思う。

平田委員

増えていることの要因を精査していただき、より地域の活性化に繋げてほしい。

横関委員

公民館が新しくなったと同時に住民自治組織もできて住民自治組織の活動も活発になり、今年のはじめて夏休みのコミュニティスクールを実現できたこともある。さまざまな活動を住民自治組織の中でも行っているの、活動をしていく中で利用している部分も多いのかと思う。つねに公民館へ人が集まっている様子が伺える。やはり、地域の中心であることはとても大事なことだと思う。これから公民館をどのように利用したり、公民館を連携していくのだろうということが住民と公民館と一緒に考えられることが大事だと思う。ますます西部公民館が活発になることを期待したい。

北沢委員

今回の台風で全県の学校の被害状況を調べた。本当に大変な状況の小学校、中学校は3件あって、まだ、近づけないような学校もある。上田市でも大きな被災状況の地域があるが、教育委員会の皆さんも含めて、一丸となって対応していただいと聞いている。特に教育委員会は、子どもの命に関わることを最優先にして対応していただければと思う。これからしばらく大変だと思うが、ご尽力いただきたい。以上で10月の定例会を終了する。

○全員了承

閉 会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
